

今号の主な内容

国保、嘱託職員募集、都営住宅……2面
 市・都民税の申告、所得税の確定申告……3面
 民生委員・児童委員は身近な相談相手……4面
 多文化共生講座、農業体験農園……5面
 児童館、健康、子育て支援……6面
 今月の相談、官公署、みんなのひろば……7面
 公民館、ふるさと歴史館、多摩六都……8面

スポーツ祭東京2013
 開催まであと **239** 日

☎ 042-393-5111(代表) ファクス 042-393-6846
 市長へのファクス 042-393-9669

ホームページ <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>
 携帯電話用 <http://mobile.city.higashimurayama.lg.jp/>



携帯電話用 QRコード

第13回

大好き東村山写真コンクール

入賞作品決定

昨年の10月～11月にかけて、東村山の出来事や催し、心温まる情景などの作品を募集しました「第13回大好き東村山写真コンクール」にご応募をいただき、ありがとうございました。

応募いただいた43作品を審査し、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作5点、市長特別賞1点を決定しましたのでご紹介します。

問い合わせ 経営政策部広報広聴課

審査員 (敬称略)

- 渡部 尚 (東村山市長)
- 新 義友 (東村山市商工会会長)
- 肥沼 光一 (東京みらい農業協同組合東村山支店長)
- 金子 幸一 (西武鉄道株式会社東村山駅管区長)
- 宇井真紀子 (写真家)
- 當麻 綾子 (写真家)
- 荒井 浩 (東村山市副市長)
- 諸田壽一郎 (東村山市経営政策部長)

市長特別賞



「泣き相撲」(萩山八幡神社) 永田和久さん(本町)



「次回に向けて、このように撮るのもいいですよ」
 天候や光のきれいな時間、一瞬の出来事をタイミングを逃さず撮影されたものが高く評価されています。被写体のそばに居るといふことは、よい写真を撮る上で、大変有利なこと。地元風景や光景は、慣れているが故になかなか新鮮な感動につながりづらいかもしれませんが、二度と

「写真コンクールの講評」
 宇井真紀子さん
 同じ瞬間はありません。そんな日常の一コマも愛おしいものです。心を動かされた時にいつでも撮れるようにカメラを携えてください。地元ならではの愛情あふれる写真は、きつと見る人の心に残ると思います。

「写真コンクール 応募作品について」
 當麻綾子さん
 年々若い応募者が増え、より広い世代に写真コンクールが根付き、また活気づいてい

「東村山写真コンクールの講評」

る印象を受けます。どの作品も、すぐ近くにある八国山緑地などの豊かな自然や市内の人々の暮らしを多様な目で切り取っていて、驚きと新たな発見があり、思わず撮影地に足を運びたくなる写真ばかりです。今や携帯電話にも作品としての写真が撮れるような高性能なカメラが揃っている時代です。技術よりも着眼点と切り取る感性が大事になっていると言えるかもしれません。

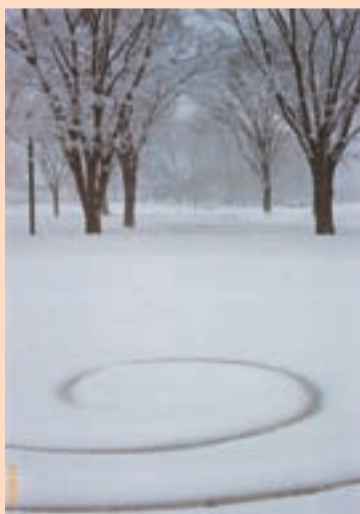


「砂糖細工の森」(東村山中央公園) 稲葉光亮さん(美住町)

最優秀賞



「だっちゃん池の紅葉」(狭山公園内宅部池) 池谷 肇さん(廻田町)



「雪の中央公園」(東村山中央公園) 斎藤百太郎さん(富士見町)

優秀賞



「八国の満開超え」(八国山緑地) 松原久寿さん(美住町)

佳作



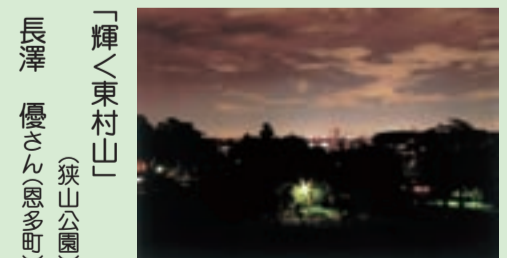
「おまわりさん ありがとう!」(久米川駅前交番前) 高根澤隆一さん(青葉町)



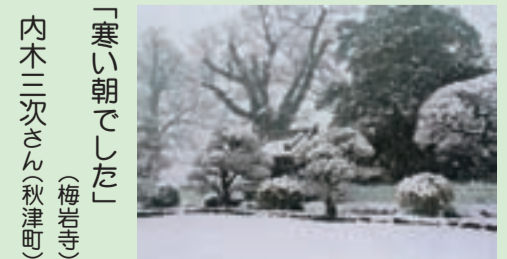
「ごんご玉探し」(北山公園) 武藤 潔さん(所沢市)



「車窓からの雪景色」(西武多摩湖線車内) 下ノ村 勇さん(栄町)



「輝く東村山」(狭山公園) 長澤 優さん(恩多町)



「寒い朝でした」(梅岩寺) 内木三次さん(秋津町)